

学校だより

銀杏



校訓 ～ 夢 創造 活力 ～

銚田市立大洋中学校
令和2年7月1日発行 No.4
TEL 39-3231 FAX 39-9154
Eメール: taiyochu@city.hokota.ed.jp
発行責任者 校長 中根 伸一

学校の新しい生活様式

学校再開から3週間が過ぎ、学校の「新しい生活様式」も確かな取組として定着しつつあります。しかし、今後も油断することなく、生徒への指導や健康状況の確認、共有物品の消毒等を学校全体で取り組んでいきます。

保護者の皆さまには今後ともご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。



部活動再開しました

「努力のつぼ」の話

(※ 朝日作文コンクール25選より)

皆さんが、何かを始めようとか、今まで出来なかったことをやろうと思った時に、誰もが、神様から「努力のつぼ」をもらうのだそうです。

努力とは、別の言葉で言うと「頑張ること。」

そのつぼには、いろいろな大きさがあります。

「毎日元気に挨拶をしよう」と頑張るときには、きつと、小さなつぼでしょう。

「何かの大会で優勝したい」と頑張るときには、とってとって、大きなつぼになると思います。

そして、このつぼは、人によっても大きさが違うというのです。

「自分は一生懸命に頑張っている」

友だちは出来るのに、自分はまだ出来ない・・・
なぜなの？となりますよね。

こうなるのは、同じ事を頑張っている、つぼの大きさが、みんなそれぞれ違うからです。

つぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって行って、いつか「努力」があふれる時がきます。努力があふれる瞬間が、出来るようになるときです。

「努力のつぼ」には、もう一つ特徴があります。

それは、つぼの大きさは自分では分からないので、どれだけ頑張ればいいのか、知ることができないということです。

あと1日、努力すればできるようになる。

あと1回、努力すればできるようになる。

そんなふうに分ければいいのですが、それは無理です。誰も分かりません。ですから、あきらめないことです。あきらめたら終わりです。努力をしているときは、本当に辛いものです。努力をしても結果が出ないと嫌になってしまうことでしょう。

でも、「努力のつぼ」というのは決して消えたり無くなったりしません。あと1日で出来るようになるかもしれないのに、あきらめたらもったいないですよ。これまで苦労して頑張っている努力の分は間違いなく、そのつぼにたまっています。少しずつですが、水がたまっていくのと同じように確実にたまっています。

ですから、あきらめずに、休まずに、つぼの中に努力を入れていけば、いつか必ず、あふれる瞬間がきます。



7月・8月の学校行事予定

現在、皆さまにお伝えできる学校行事をお知らせいたします。

二者・三者面談	7/30(木) 31(金)
	8/3(月) 4(火) 5(水)
期末テスト	7/29(水)・30(木)
夏季休業	8/8(土)から8/17(月)まで
通知票配布日	8/28(金)
2学期始業式	8/31(月)